

—東京医科歯科大学紀要投稿の手引—
(Journal of Medical and Dental
Sciences)
第 16.1 版

東京医科歯科大学紀要編集委員会 編

[はじめに]

1. 東京医科歯科大学紀要（以下紀要）は、東京医科歯科大学における研究業績等を公表するための電子ジャーナルである。
2. 投稿者（共著の場合は第1著者）は、次のいずれかであること。
 - 1) 本学の教職員
 - 2) 本学の学生で、所属分野長が推薦する者
 - 3) 上記以外の者で、紀要編集委員会（以下委員会）において認められた者
 - ① 本学に在職していたことがあり、所属していた分野（診療科、センター等を含む。以下同）の現分野長が推薦する者
 - ② 本学に在籍していた大学院生または専攻生で、所属していた分野の現分野長が推薦する者
 - ③ 他の者については、委員会でその都度審議する
 - 4) 委員会の依頼を受けた者
3. 論文は、他の刊行物に公表されておらず、また投稿中でないこと。
4. 使用言語は英語とする。投稿前に英文校正業者によるチェックを受けること。英文校正業者の利用料は投稿者または所属分野が負担すること。なお、英語を母国語とする者、または英文論文執筆の経験が深い研究者によるチェックで代用することも可とする。
5. 統計処理を行う場合は、査読者が統計処理の妥当性を検証するのに十分な記述を行うこと。学位論文の場合は、統計の専門家（本学の医学部附属病院 臨床試験管理センター 生物統計学・データサイエンス部の教員またはそれに準じる統計解析の知識・経験を持つ者）の確認を得た上で、その者の氏名をチェックシートに記入すること。
臨床試験管理センター 生物統計学・データサイエンス部の Web サイト
<http://tmdu-biostat-datascience.com/>
6. 査読については、double blindedで行うので、本文、図、表について、著者（共著者を含む）やその所属等を特定できる部分はXXXXXXXXX等で置き換えた原稿を提出すること。ただし、掲載が決定した後は、それらの情報を載せた原稿を速やかに提出すること（[校正]を参照）

[審査]

1. 論文は査読審査を行い、学術的に十分な内容のものを掲載候補とする。掲載候補とされたものは、1ヶ月以内に委員会で掲載の可否を決定する。掲載可とされた論文は、校正（後述）を経て、ただちにインターネットで公開される。
2. 査読は、委員会委員及び委員会が依頼した学内、学外の専門家3名以上で行う。
3. 投稿者は、査読者を2名まで推薦できる。ただし、推薦査読者は東京医科歯科大学の教員であること、当該論文に関与していないこと、筆頭著者及び共著者と同一の所属分野ではないことが必須である。なおこの推薦は、委員会が査読候補を検討する際の参考にするためのものであり、推薦したからといって必ずしも採用されるわけではない。
4. 査読の結果、原稿の修正が指示された場合は、指定された期間内（原則2週間）に、修

正指示への回答および修正原稿を、紀要投稿査読システムで提出すること。理由無く、指定された締め切りを2ヶ月以上過ぎても提出しない場合は、不合格とする。

5. 査読は3回までとし、3回目でも掲載に十分ではないと判断された投稿は、掲載不可とされる。ただし、査読を担当している委員会委員が継続を認めた場合はこの限りではない。
6. 掲載不可とされた投稿を再投稿する場合は、投稿申込に必要な書類を再度作成し、修正指示への回答および修正原稿と併せて提出すること。元の受付番号を備考欄へ入力すること。
7. 編集委員から英文校正を指示された場合は、「英文再校正の完了を示す書類（*）」を、修正原稿と共に提出すること。
（*）初投稿時や前回修正投稿時の書類は不可。要日付。
書類の具体例は[投稿] 1（**）を参照。
8. 推薦者がいる場合（[はじめに]2.2）または2.3）①および②）は、査読の結果および採否の決定を、推薦者にも連絡する。
9. 投稿を取り下げる場合は、担当事務に申し出た上、所定の書類を提出すること。
10. 動画は審査対象外の補足資料として取り扱う。

[関連委員会の承認]

1. 人を対象とした研究で、「研究実施機関の倫理審査委員会の承認」と「インフォームド・コンセントの取得」が必要な場合は、それらを得たことを Materials and Methods（後述）の冒頭に明記すること。倫理審査委員会の承認については、その受付番号を記載すること。
2. 動物実験は、「研究実施機関の動物実験委員会の承認」を得たことを Materials and Methods（後述）の冒頭に明記すること。ただし、上記1項の記載が必要な場合には、その後に記載すること。

[投稿]

1. 紀要投稿査読システム (<https://www.i-product.biz/tmd-jmids/author/>) から投稿申込書、履歴書、チェックシートに必要事項を入力し、原稿、英文校正完了書類等を、アップロードすること。
（**）「英文校正の完了を示す書類」の例
 - ・英文校正業者の領収書のコピーや校正完了メール
 - ・英語を母国語とする者、または英文論文執筆の経験が深い研究者が校正した場合には、別紙「Certificate of Proofreading」（英文校正証明書）
2. 以下の情報をシステムで入力すること
 - 1) Name of the Authors（著者名）
フルネームで記す。M. D.、Ph. D.等は記さない。共著者の所属が異なる場合は、所属ごとの番号を氏名の後に（）で付けること。

(例) Taro Yushima(1), Hanako Kounodai(2)

2) Affiliations (所属)

分野名(診療科名)、部局名(研究科名、附属病院名等)、大学名(所属機関名)を記す。住所、メールアドレスは記さない。著者名の番号順に並べること。

(例)

Department of ○○, Graduate school of ○○, Tokyo Medical and Dental University

Center for ××, Tokyo Medical and Dental University

3. Abstract (抄録) の和訳をシステムから入力すること

[原稿]

(形式)

1. 図表を含め、掲載時に 10 ページ以内になるよう作成すること(原稿の段階では、図表を含め 25 ページ程度を目安とすること)。
2. 本文・図表・写真等すべて電子ファイルで提出すること。
3. 文章は、Microsoft 社の WORD で作成すること。図は同社の PowerPoint で作成するか、JPEG、GIF、TIFF、PNG 形式のいずれかのファイルにすること。表は同社の EXCEL、WORD、PowerPoint のいずれかで作成すること。写真は JPEG または TIFF 形式のファイルにすること。
4. 文章は、1 ページ 20 行、フォントは Times New Roman、サイズは 12 ポイント、文字間隔は標準とする。行間および両側には十分な余白をとり、下部にページ番号を記すこと。
5. 「Title Page (表紙)」、「Abstract, Key Words (抄録, キーワード)」、「Text (本文)」、「Reference (参考文献リスト)」、「Legends (図表の下につける説明文)」の順に並べ、1 つの Word ファイルとすること。
(注. 図表、写真は貼り込まず、別ファイルにすること)。

(Title Page : 表紙)

6. Title of the Paper (表題)
7. Manuscript Category (論文の種類)
Original Article (原著)、Review (総説)、Case Report (症例報告)、Other (その他)
8. Name of the Authors (著者名) ※伏せ字(XXXXXXXX)にすること。
9. Affiliations (所属) ※伏せ字(XXXXXXXX)にすること。
10. Running head (欄外見出し) 奇数ページの上に付ける見出し。50 字以内。
11. Corresponding Author (責任著者) ※伏せ字(XXXXXXXX)にすること。

(Abstract, Key Words : 抄録, キーワード)

12. Abstract (抄録)

200 語以内。和訳を Web 上から入力すること。

13. Key Words

5 個以内。MeSH Terms (***) であることが望ましい。

(***) MeSH (Medical Subject Headings) Database

米国国立医学図書館 (NLM) の生命科学用語集

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/mesh>

(Text : 本文)

14. Abstract, Key Words の次のページに記すこと。原著論文の場合は、原則として、以下の項目を順に記すこと。

1) Introduction (目的)

2) Materials and Methods (材料と方法) ※[関連委員会の承認]参照

3) Results (結果)

4) Discussion (考察)

15. 参考文献の該当個所に肩番号 1), 2) … を順につけること。

16. 図表の挿入箇所を、余白に示すこと。

17. 細菌や動植物などの学名は、イタリックとし、頭文字は大文字で記すこと。

[例] *Bacillus enteritidis*, *Trombicula pallida*

18. 薬品の商品名を書く場合は、頭文字を大文字、化学名と一般名は小文字で記すこと。

[例] Endoxan, cyclophosphamide

19. 度量衡の単位は、原則として国際単位系 (SI) で記すこと。

例 : 長さ nm, μm , mm, m, km など

質量 pg, ng, μg , mg, g, kg など

物質量 mol など

体積 mm^3 , m^3 など

容量 μl または μL , ml または mL, l または L など

濃度 mg/l または mg/L, g/l または g/L など

温度 $^{\circ}\text{C}$, K など

時間 s, min, h など

(Conflicts of Interest : 利益相反)

20. Text の後に、Conflicts of Interest の項目を設けて明記すること。「国立大学法人東京医科歯科大学利益相反マネジメントポリシー」に基づき、共著者を含めた全著者の当該論文に関する利益相反の内容、または利益相反マネジメント委員会等の承認について記載すること。また、共著者に編集委員が含まれている場合も記載すること。なお、開示すべき利益相反がない場合も、その旨記載すること。

(Acknowledgements : 謝辞)

21. Conflicts of Interest の後に、任意で記すこと。

(References : 参考文献リスト)

22. 当手引きの「文献記載例」を参考に、Text の次のページに Vancouver 方式で記すこと。
23. Web ページは、内容が更新される可能性があるため、リストには含めない。参考にした場合は、文中又は脚注に URL と参照日を記すこと。
- 1) 文中では、() 内に記すこと。
 - 2) 脚注の場合は、本文の当該箇所の肩に*、**、*** … とつけ、ページ下部に境界線を引き記すこと。

(図表)

24. References の次のページに、Legends (図表の下に付ける説明文) をつけること。各 Legend に当該図表の横幅を、シングルカラム (本文 2 段組みの 1 段分)、またはダブルカラム (本文 2 段組みの 2 段分) と記すこと。
25. 表は、Table1、Table2… のように通し番号を付けること。
26. 図は、Figure1、Figure2… のように通し番号を付けること。
27. 顕微鏡写真には、原則としてスケールバーを入れること。

(動画)

28. 動画の掲載を希望する場合は、審査対象外の補足資料として、電子ファイル (原則として最大 5 ファイル、MP4 形式、合計 20MB 以下) で提出すること。

[校正]

1. 掲載決定の連絡を受けた後、速やかに審査に合格した原稿の全電子ファイルを提出すること。その際、以下の情報を追記すること。

[Title Page]

Name of the Authors (著者名)

フルネームで記す。M.D.、Ph.D. 等は記さない。共著者の所属が異なる場合は、所属ごとの肩番号 1)、2)… を、全員に付けること。

Affiliations (所属)

分野名 (診療科名)、部局名 (研究科名、附属病院名等)、大学名 (所属機関名) を記す。住所、メールアドレスは記さない。著者名の肩番号順に並べること。

Corresponding Author (責任著者)

氏名 (M.D.、Ph.D. 等を記してもよい)、分野名、研究科名、大学名 (機関名)、大学住

所（機関住所）、E-mail、電話（任意）、FAX(任意)を記すこと。

[Author Contributions（著者の貢献）]

本論文について、第1著者と同程度の貢献・寄与を行った共著者がいる場合に限り、Acknowledgementsの次に設けることができる。

「These authors contributed equally to this work.」と記し、氏名を記すこと。

2. 著者校正は、原則として一回とする。

[別刷]

1. 初校時に学術情報課に申し込むこと。別刷の費用は、著者又は所属分野が負担すること。

[著作権]

1. 掲載許可された論文の著作権は、国立大学法人東京医科歯科大学に帰属する。
動画（補足資料）の著作権は、著者に帰属する。動画掲載により発生する問題・損害については、すべて著者の責任において対応すること。なお、委員会にて明らかに不適切と判断された場合は、掲載しない。
2. 著者は、大学の許可なく、論文の複製・配布・転載・公衆送信（インターネットでの公開）・翻訳・翻案を行うことができる。ただし、「Journal of Medical and Dental Sciences 又は The Bulletin of Tokyo Medical and Dental University」に掲載されたものであることを、巻号とともに明記すること。
3. 大学の許可なく、論文の内容を変更することはできない（誤謬の訂正も含む）。
4. 原稿は、レイアウトを整えた上で、図書館 web サイトで無償公開される。
5. 著者以外の者から大学紀要に掲載した論文の全部または一部を転載したい旨依頼があった場合は、「Journal of Medical and Dental Sciences 又は The Bulletin of Tokyo Medical and Dental University」に掲載されたものであることを、著者、巻号とともに明記することを条件に、転載を許諾する。なお、転載する者から、東京医科歯科大学紀要編集委員会事務に転載先書誌情報をメール等で連絡してもらい、可能な限り、転載先書誌情報を筆頭著者に連絡する。

文献記載例

- Vancouver 方式で記載すること。
(注) Vancouver 方式： Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (生物医学雑誌への統一投稿規定) のこと。下記を参照。
http://www.icmje.org/urm_full.pdf
- 文献は、本文の肩番号順に記すこと
- 著者名は3名まで明記し、それ以上は、「et al.」と略すこと
- 雑誌の略名は、NLM Catalog (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog>) を参照すること
- 日本語の文献は、(in Japanese) と記すこと
- 下記以外の記載例は、NLM の Citing Medicine (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/>) を参照すること

[雑誌掲載論文]

【 基本形式 】

著者名 (姓 名(頭文字)) . 論文表題 : 雑誌略名 . 発行年 ; 巻 (号) : 開始頁 - 終了頁 .

(基本例)

Rose ME, Huerbin MB, Melick J, et al. Regulation of interstitial excitatory amino acid concentrations after cortical contusion injury. *Brain Res.* 2002;935(1-2):40-6.

(サプリメント (増刊号) の場合)

Geraud G, Spierings EL, Keywood C. Tolerability and safety of frovatriptan with short- and long-term use for treatment of migraine and in comparison with sumatriptan. *Headache.* 2002; 42 Suppl 2:S93-9.

文献記載例

[本・その他の刊行物]

【 基本形式 】

著者名. 本の題名. 版. 発行地 : 出版社名 ; 発行年.

(基本例)

Murray PR, Rosenthal KS, Kobayashi GS, et al. Medical microbiology. 4th ed. St. Louis: Mosby; 2002.

(編集者、編纂者を記載する場合)

Gilstrap LC 3rd, Cunningham FG, VanDorsten JP, editors. Operative obstetrics. 2nd ed. New York: McGraw-Hill; 2002.

(単行本中の章を記載する場合)

Meltzer PS, Kallioniemi A, Trent JM. Chromosome alterations in human solid tumors. In: Vogelstein B, Kinzler KW, editors. The genetic basis of human cancer. New York: McGraw-Hill; 2002: 93-113.

[電子ジャーナル]

【 基本形式 】

著者名. 論文表題 : 雑誌略名 [媒体の種類]. 発行年 ; 巻 (号) : 開始頁 - 終了頁 Available from: URL.

(基本例)

Kaul S, Diamond GA. Good enough: A Primer on the Analysis and Interpretation of Noninferiority Trials. Ann Intern Med [Internet]. 2006; 145(1):62-9 Available from: <http://www.annals.org/content/145/1/62.full.pdf>

昭和44年4月制定

委員長	石井善一郎				
委員	大塚正憲	池園悦太郎	佐野豊美	佐々木哲	
	石原寿郎	窪田金次郎	佐々龍雄	石川正幸	

昭和54年4月改訂

委員長	市岡正道				
委員	和気健二郎	春日孟	桃井宏直	窪田金次郎	
	塩田重利	小野博志	石川正幸	外村昌	
	原一郎				

平成8年11月改訂

委員長	佐藤温重				
委員	藤田紘一郎	奈良信雄	神山隆一	高野吉郎	
	高木實	海野雅浩	宮入裕夫	山上皓	
	船越浩海				

平成14年9月改訂

委員長	大谷啓一				
委員	秋吉一成	服部淳彦	廣瀬たい子	三浦宏之	
	三浦修	森田育男	岡部繁男	田中光一	
	山下靖雄				

平成17年9月改訂

委員長	海野雅浩				
委員	秋吉一成	東みゆき	古川哲史	服部淳彦	
	春日井昇平	増田敦子	増田正	三浦修	
	田邊勉	山下靖雄			

平成19年9月改訂

委員長	湯浅保仁				
委員	東みゆき	五十嵐順正	和泉雄一	北川昌伸	
	滝澤登一郎	田邊勉	玉村啓和	千葉司	
	古川哲史	増田正	宗田大	山下靖雄	
	横関博雄				

平成22年6月改訂

委員長 天 笠 光 雄
委員 山 岡 昇 司 上 村 公 一 宗 田 大 横 関 博 雄
山 本 則 子 松 浦 雅 人 俣 木 志 朗 中 川 一 路
深 山 治 久 和 泉 雄 一 フィリップ・マイケル・トロモビッチ
岸 田 晶 夫 樗 木 俊 聡 細 谷 孝 充

平成23年11月改訂

委員長 木 下 淳 博
委員 山 岡 昇 司 上 村 公 一 大久保 憲 一 横 田 浩 史
山 本 則 子 松 浦 雅 人 俣 木 志 朗 中 川 一 路
深 山 治 久 泰 羅 雅 登 伊 藤 正 則 岸 田 晶 夫
樗 木 俊 聡 細 谷 孝 充

平成24年9月改訂

委員長 木 下 淳 博
委員 太 田 伸 生 秋 田 恵 一 大久保 憲 一 横 田 浩 史
丸 光 恵 松 浦 雅 人 中 川 一 路 深 山 治 久
俣 木 志 朗 泰 羅 雅 登 伊 藤 正 則 細 谷 孝 充
樗 木 俊 聡

平成26年2月改訂

委員長 木 下 淳 博
委員 太 田 伸 生 秋 田 恵 一 大久保 憲 一 横 田 浩 史
丸 光 恵 伊 藤 南 宇 尾 基 弘 中 川 一 路
深 山 治 久 俣 木 志 朗 奈 良 雅 之 細 谷 孝 充
樗 木 俊 聡

平成26年9月改訂

委員長 木 下 淳 博
委員 神奈木 真 理 中 田 隆 夫 大久保 憲 一 横 田 浩 史
緒 方 泰 子 伊 藤 南 宇 尾 基 弘 深 山 治 久
俣 木 志 朗 三 浦 雅 彦 奈 良 雅 之 玉 村 啓 和
石 川 俊 平

平成27年9月改訂

委員長 木 下 淳 博
委員 神奈木 真 理 中 田 隆 夫 田 邊 稔 横 田 隆 徳

緒方泰子 伊藤南 宇尾基弘 深山治久
俣木志朗 三浦雅彦 奈良雅之 玉村啓和
石川俊平

平成29年11月改訂

委員長 木下淳博
委員 神奈木真理 中田隆夫 田邊稔 横田隆徳
緒方泰子 星治 池田通 櫻田宏一
俣木志朗 三浦雅彦 奈良雅之 玉村啓和
石川俊平

2018年9月改訂

委員長 木下淳博
委員 田中真二 中村桂子 田邊稔 横田隆徳
大久保功子 星治 池田通 櫻田宏一
深山治久 三浦雅彦 奈良雅之 玉村啓和
角田達彦

2019年6月改訂

委員長 木下淳博
委員 田中真二 中村桂子 東田修二 立石宇貴秀
大久保功子 星治 池田通 櫻田宏一
深山治久 三浦雅彦 澤野頼子 玉村啓和
村松正明

2019年12月改訂

委員長 木下淳博
委員 田中真二 中村桂子 東田修二 立石宇貴秀
大久保功子 星治 池田通 櫻田宏一
深山治久 三浦雅彦 澤野頼子 玉村啓和
村松正明

[投稿・手引きに関する問合せ]

統合情報機構事務部学術情報課総務係

M&D タワー3F 学術情報課事務室

E-mail: kiyou.lib@ml.tmd.ac.jp

電話: 03-5803-5592